



## 認知症の心配ごと・困りごと 認知症初期集中支援チームがお手伝いします

認知症になっても本人の意思を尊重しできる限り住み慣れた地域で暮らし続けるために、町は認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を4月に設置しました。

### 認知症初期集中支援チームとは？

認知症についての困りごとや心配ごと等の相談に対応する、医療・福祉・介護の専門職種で構成されたチームです。大槌町では、大野 忠広 医師（大槌おおのクリニック）、藤田 佳克 薬剤師（つくし薬局本店）に委嘱状を交付し、早期発見・早期対応に向けて、協力して支援を行ってまいります。

委嘱状交付式で大野医師は「認知症という言葉、症状が浸透してきたことで、行政・病院に相談される事例が増えている。地域包括支援センターと協力しながら、認知症の早期発見・早期対応に向けた仕組みを作り、高齢者が安心して大槌町で暮らせる環境を整えていきたい」と話しました。



左から順に、藤田薬剤師、大野医師、平野町長

### 支援チームの対象となる人は？

- 認知症の治療を受けていない人、中断している人
- 適切な介護サービスを受けていない人、中断している人
- 認知症の問題行動でお困りの人 等

### どこに相談したらいいの？どんな支援が受けられるの？

相談	まずは大槌町地域包括支援センターにご相談ください
家庭訪問	チーム員2人で家庭訪問を行い、認知症のご本人、家族の困りごと等を聞き取ります
支援方針の検討 (チーム員会議)	認知症サポート医・チーム員、場合によっては主治医等と一緒に今後の対応を話し合います
支援の実施	おおむね6か月を目途に、訪問して支援を行います 認知症の治療、介護サービス利用に向けて、病院等への橋渡しをします

【お問い合わせ】大槌町地域包括支援センター TEL 0193-42-8716

### ひよっこりカフェのご案内

認知症等に関する相談対応、認知症予防等に取り組んでいます。認知症の人やご家族、認知症について学びたい人等、お気軽にご参加ください。

- 日時 6月13日(水) 13:00～15:00
  - 会場 つくし薬局本店 まちかどふれあい室
  - 内容 「ずっと食べ続けるために」をテーマとした講話等
- ☎️ つくし薬局本店 TEL 0193-42-8500

平成29年度 大槌町鶴亀仙(川)柳コンクール 入選作品紹介  
(小・中学生部門 優秀賞) スポーツに ナンプレ励み ボケ知らず (大槌学園 児玉 尚汰さん)

### 小中一貫教育だより



# 城山の風

大槌のすべての子に豊かな「育ち」と確かな「学び」を

## よい子の教室 日常安全の知恵を学ぶ

5月8日、吉里吉里学園小学部1・2年生を対象に「よい子の教室」が行われました。

金石警察署生活安全課の協力により、毎年新学期の始め子供たちが事件・事故から身を守る防犯意識を養うために実施されます。

はじめに、「いかのおすし」について学びましたが、1年生でもすでに知っている子供もあり、幼・保との連携の大切さが感じられました。

次に、子供に忍びよる「声がけ不審者」を退治する「トラマイダー」の寸劇では、不審者を退治するトラマイダーの活躍に大きな拍手を送りながら、自分の身を守ることの大切さを学びました。

「いかのおすし」とは、

- い：いらない (知らない人について行かない)
- の：のらない (知らない人の車に乗らない)
- お：おおきな声で叫ぶ (危なくなったら大きな声で叫ぶ)
- す：すぐ逃げる
- し：しらせる (近くの大人や家の人に知らせる)

という防犯の「合い言葉」です。

家庭でも機会あるごとに話題に取り上げていただいて子供たちへの定着を図り、事故・事件にあわない生活をさせたいものです。



## ふるさと科アプリで広がる学び

ふるさと科の学びの充実をめざして開発されてきた「ふるさと科」アプリが実用の段階に入り先生方や町職員への研修会が行われました。



アプリは、

- ①カメラ機能
- ②定点観測の蓄積
- ③これまでの学びのデータ蓄積

など7項目に分類され、端末は両学園に配置しているipad (アイパッド) を活用します。



「定点観測の蓄積」では、地区名を検索すると震災前に撮影された写真と復興が進む現在の町並みの写真を見比べることができるようになっています。

また、ふるさと科の授業で自分が取り組んだ記録も蓄積し、自分だけのふるさと科の記録として残すこともできます。さらに、外部に発信することもできるようになっています。

データの蓄積は、学校、教育委員会だけでなく、役場の総合政策課や大槌高校の復興研究会の協力を得て行われています。

来月以降、大槌町のホームページの大槌応援団サイトから見る事ができます。

## ウルトラマンの強さと優しさを!

新学期を迎え子供たちの健やかな成長を願って、大槌・吉里吉里両学園の1年生にウルトラマンのフィギュア(人形)がプレゼントされました。

贈り主は末広町に住む藤枝国昭さんで、子供たちが元気に新学期をスタートするようにこれまで避難先で作り貯めておいたフィギュアを届けたものです。

ウルトラマンといえば現在も根強い人気があり、子供だけでなく年配者にとっても懐かしいものがあります。地球征服をたくらむバルタン星人をやっつけるスペシウム光線はまさに正義の味方の象徴で、子供たちのやさしくたくましい成長を願い製作されました。

2～6年生にも別のモデルがプレゼントされました。



平成30年度版「学校支援地域カレンダー」を保護者、関係機関に配布しました。大槌、吉里吉里の両学園と大槌高校の行事予定を掲載しています。学校へのお出掛けや家庭・地域での過ごし方の参考にご活用ください。  
(問い合わせ：教育委員会事務局学務課 42-6100)